

# 多摩川改修100年プロジェクト発足式典

## 【多摩川改修100年プロジェクト】

大正3（1914）年に御幸村（現：川崎市）とその周辺の村民たち500余名が、明治40年、明治43年と度重なる洪水による被害に耐えかね、アミガサを着用して神奈川県庁に押し寄せ、多摩川の早期築堤を訴える（アミガサ事件）が occurred.

この事件を契機に、大正7（1918）年、国による多摩川改修事業が始まり、平成30（2018）年で100年の節目を迎えます。そこで、あらためて多摩川の治水の歴史を振り返り、これからもっと多摩川を知っていただくため、多摩川流域の自治体のご協力を得ながら、より良い多摩川を目指すため、「多摩川改修100年プロジェクト」として、各種イベントを開催していきます。

## 【多摩川改修100年プロジェクト発足式典を開催】

平成30年5月14日（月）、東京自治会館（東京都府中市）において『多摩川改修100年プロジェクト発足式典』を開催しました。

多摩川流域の関係自治体の代表者が出席したこの発足式典では、多摩市長の代表挨拶、多摩川改修100年プロジェクトの説明、多摩川改修100年を振り返る映像のお披露目があり、京浜河川事務所と多摩川流域自治体とで構成する多摩川流域協議会会長（京浜河川事務所長）より「歴史ある100年間を振り返り、皆様のご協力のもと、子ども達の未来へ、豊かで活力のある地域を継承していく」とした宣言が行われました。



出席者集合写真



代表挨拶（多摩市長）



発足宣言（多摩川流域協議会会長）

